



●会長からのごあいさつ

山梨県桃の会 会長 篠原博子

日本人の孤立度は世界一だそうです。そうした社会の中で、いじめ、虐待、自殺、短絡的な殺人、ストーカー等多くの問題が後を絶ちません。不登校引きこもりもそうした社会現象の一つでしょう。物質が豊富になる一方で心が壊れていったのです。「人は人間関係によって人間になっていく」私達は他者と生き生き響き合う心の交流をする事によって、自分の存在を肯定的に実感しながら生きていけるのです。設立3ヶ月余りの全国ひきこもりKHJ親の会 山梨桃の会としての役割を重く受け止めています。桃の会が多くの人の心の交流の場となりますように!

設立当初から山梨日日新聞の御協力に厚くお礼申し上げます。

●10月例会が開かれました。

<運営会議>16名の参加がありました。男性参加者も増えています。「親子でなく他人同士だと思えばうまくやっていけると思う」という意見がありました。家族は諦めず、継続して接していくことが大切だと学習しました。

<池田佳代先生「ひきこもりへの理解」の講演>家庭を安心できる場所にする。



まず当事者の不安、恐怖を取り除いてあげる。それには親が変わる。親が優しくすることが大切です。一例として、ねんねこねんねんと背中を軽く叩いてあげる。それが、ひきこもりの子どもにとっては大きな安心感につながっていきます。また、ひきこもりの子は真面目で、「はい」としか言えない子が多いです。その子が、家で「うるせー」「嫌だ」と言ったら褒めてあげる、など具体例を交え、とても分かり

り易い講演でした。

<6~7名のグループでの話し合い>

「池田先生の本を読み、子どもに肯定的な言葉をかけられるようになった」「子どもは知らぬ間に新聞報道を見ている」「褒めるときは、細かく具体的に言うよう子どもからの訴えがあった」など、皆さん、大好きな子どものために熱心に意見交換されていました。終了後は皆さんに多くの笑顔がみられました。来月も会える事を約束して解散しました。(レポート:清水美千子さん)

輝くあなたにも
暗い闇はある?
暗い闇にいる
私も輝く
ことはある?

山梨日日新聞の連載「扉の向こうへ」に登場されたモモコさん(仮名)が書かれた詩です。
桃の会9月例会で、山日記者さんによる朗読により披露されました。

※掲載にはご本人の許可を頂いております。
転載はご遠慮下さい。

🍑🍑 山梨県桃の会 11月例会のご案内 🍑🍑

日時 2014年 11月 15日(土) 13:30 ~ 16:30
(※運営会議は10:30開始。こちらもぜひご参加ください)

場所 山梨県立図書館 1F イベントスペース

参加費 家族で1,000円 (当事者は無料)

テーマ 「無条件の肯定的関心 ~ 一番大切な親の姿勢 ~」

講師 高橋 晋(たかはし すすむ) 先生

家族相談士。カウンセラー。東京大学大学院中退。不登校ひきこもり問題に関わって12年。現在は、ひきこもりカウンセラーとして全国ひきこもり家族会、SCS カウンセリング研究所などで、親の学習会講師、カウンセリングを行っている。自分自身が、大学4年以降、動いては動けなくなって・・・ということを繰り返し、自分の問題とひきこもりの問題が深いところでつながっている事を感じたことが、「ひきこもり」に関わるきっかけとなった。

【家族会の運営会議にご参加ください】

10:30~12:00 まで運営会議を行います。会場は月例会と同じです。

各地の「親の会」は、親御さん自身の手で、力を合わせながら継続されています。一緒に作り上げていきましょう。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。(昼食は各自でご用意ください。)



●ボランティアにおいでいただけませんか

南アルプス市にある福祉施設(松の実作業所)では、ボランティアをして下さる方を求めています。

- ・1回 30分から2時間くらいまで。
- ・1週間に1回でも、1か月に1回でも、1年に1回でもご自由に選んで頂けます。
- ・内容は、主に「封筒」をパックに入れる等の軽作業です。

(時にはゲームや軽スポーツなどを一緒に行って頂くこともあります。)

興味のあるかたは、職員の大塩美千子にお声をかけてください♪
当事者(ご本人)おひとりで、または親御さんもおいっしょにぜひ。

南アルプス市松の実作業所 担当 大塩美千子(山梨県桃の会会員)
所在地:南アルプス市沢登993-4 電話:055(282)8361